


各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

給与システムにおける紙帳票の電子化

会計管理課

ここがポイント 

○ 仕分け作業にかかる延べ人数を93%削減（112人日・898時間削減）

給与システムでは、これまで帳票数87種類、年間30万枚の紙帳票が出力され、会計管理課が各支払管理者（総務事務センター、警察本部会計課、企業局総務課、病院局経営管理課、下水道課）ごとに仕分けし、それを各支払管理者が所属ごと（398課所）に仕分けしたうえで、送付していました。

この仕分け作業は、支払管理者における手作業の負担が非常に大きく、特に知事部局を所管する総務事務センターでは、1回10人で4時間かかる作業を年間15回（毎月給与＋期末＋源泉票）行っていました。

この状況を改善するため、会計管理課では、平成26年度に、帳票を可能な限り電子化することに取り組み、仕分け作業をなんと9割以上削減することに成功しました。

電子化に当たっては、綿密な現状把握を行うとともに、配布先や閲覧制限の設定などについて入念な調整を行い、稼働当初から円滑な運用を実現。しかも、迅速な調整により、稼働時期を4か月も前倒してきたそうです。

また、この取組は、帳票到達時間の短縮（最大3日→2時間）、紙代の節約（▲29万円）、帳票保管の容易化といった効果もあり、会計管理課や給与支払管理者だけでなく、全課所の庶務業務の負担軽減にもつながっています。


スリムな体制での効率的な事務執行に大きく貢献する取組でした。



この作業をなくし898時間の業務削減に

海外からの県内周遊を含むツアーの造成促進

観光物産課

ここがポイント 

- 積極的な誘致策とおもてなしにより、前年度比114倍超のツアー催行数に
- 職員間の活発なコミュニケーションによる風通しの良さが好結果につながる

観光物産課国際観光推進室では、平成26年度の新たな取組として、海外旅行博などでのPR、海外の旅行者を招へいた現地訪問ツアーの実施、ランドオペレーターへの商品造成の働きかけなど、積極的な誘致策を展開しました。

また、県内周遊を含む全ツアーに対して原則として職員自らが出迎えを行い、観光パンフレットや歓迎グッズを配布したほか、ゆるキャラ「ハッスル黄門」も登場させるなど、心を込めたおもてなしを行いました。



職員による海外でのPR

その結果、前年度比114倍超となる341ツアーの誘致に成功。来県した外国人観光客からも非常に好評を得るとともに、マスメディアでも何度も取り上げられるなど、県内の観光消費の増加に大きく貢献しました。

担当の方にお話を伺うと、海外に出張したり、多くのツアーのおもてなしをしたりと非常に多忙で、誰もデスクにいないこともしばしばだったそうですが、LINEなどSNSを活用して、職員間で活発にコミュニケーションを図り、好結果につなげたそうです。

「何気ないことですが、どんなに忙しい時でも、朝、元気に挨拶することが大切。そこからチームワークも生まれてきます」とのことでした。

行革分権室
から一言

今回も平成26年度目標チャレンジで知事表彰された取組をご紹介しました。スリムな体制で多様な行政ニーズに応えることは容易ではありませんが、創意工夫とチームワークで対応していきたいですね。